

# 民主青年新聞

DEMOCRATIC YOUTH NEWSPAPER

みどころ SNSとの付き合い方を考える  
スポーツと資本主義  
ビキニデー出発点に、核なき世界へ

6、7面  
3面  
10、11面

▶ ホームページ www.dylj.or.jp ▶ Eメール minsin@dylj.or.jp

## 「自民党政治対 日本共産党」掲げて共感広げた



▶南関東ブロックで当選し、喜ぶ畑野君枝候補と同盟員ら(当時)、8日、日本共産党神奈川県委員会

### 解散総選挙

通常国会冒頭での異例の解散総選挙が、1月27日公示、2月8日投開票で行われました。民青同盟は全国で、「日本共産党と一緒に政治を変えよう決議」をあげ、青年との共同を広げながら宣伝に踏み出しました。記者が選挙後半、東京で取材した宣伝のようすや青年の声を紹介します。(青年は一部仮名、齊藤崇記者)



▲3日の東長崎駅での宣伝で、青年と対話するようす

### ぶれないところがいい

4日に新宿駅で行われた日本共産党青年学生後援会による宣伝で、3人の同盟外の青年に取材しました。「宮本徹さんの演説を聞きに来た」と言う大田順矢さん(23)は「立憲民主党が公明党に吸収され、安保法制に対する立場を180度変えてしまったことは残念だった。しかし日本共産党はぶれずに安保法制に反対を貫いているところがいいと思う。小選挙区では候補者がいないので、比例で日本共産党に投票するつもり」と話しました。

### 友だちにもはたらきかけた

3日、豊島区の日本共産党青年学生後援会が東長崎駅で宣伝を行いました。参加した影山千春さん(25)は、「20代くらいの女性が、政治にとりくんでほしい」として賃金アップにシールを貼ってくれて、「いいと思います」という反応がありました。影山さんは青年と対話するなかで「若い人は、高市早苗首相のことをふんわりい



風潮があるのは嫌」と日本共産党の政策に共感していると思う。消費税を上げていく」みたいな話を聞くと、やっぱりちゃんと制度を整えて課税をすることを率直にうたえてい

「下げる方向に力を注いでくれる勢力が国会に行っている」と話しました。

「ぜひそうしてほしいと思う。正直すぐに実現することはないかもしれないけれど、やっぱり、(消費税を)上げる方向に力を注いでくれる勢力が国会に行っている」と話しました。

「ぜひそうしてほしいと思う。正直すぐに実現することはないかもしれないけれど、やっぱり、(消費税を)上げる方向に力を注いでくれる勢力が国会に行っている」と話しました。